

第五十六回
帝國議會
貴族院

取引所法中改正法律案外一件特別委員會會議事速記録第二號

昭和四年三月十一日(月曜日)午後一時四十九分開會

○委員長(侯爵大久保利武君) ソレデハ是

カラ開會イタシマス、前回ニ續キマシテ質問ヲ續行シヤウト思ヒマスカラ、ドウゾ宜シク

○水上長次郎君 司法省ノ政府委員ノ方ニ

テヨット御尋イタシタイ、昨日政務次官カラ御話ガアツカノヤウニ存ジマスカ、マダ速

記録ヲ見マセヌノデ、或ハ御尋申上デルコトガ御答ノアツコトニ屬スルカモ知レマセヌガ、ソレハドウカ御答致ヲ願ヒタイ、法人ニ、實在者ニ許ス所ノ事柄ヲバ許スコトハ非常ニ制限ヲセラレ、心配ヲセラレテ

居ルヤウナコトガ總ベテノ法律ノ上カラ分ルノデアリマスカ、此信託會社ヲシテ検査ヲ許スト云フコトニ付キマシテハ、外ノ法人ニ、實在者ニ許ス所ノ事柄ヲ許スヤウナ關係ナドニ鑑ミ、又許ス事柄ト、サウシテ

其會社ノ營業等ノ關係ヲ考ヘテ、此信託會社ヘ會計検査ヲ許スト云フコトニ付テノ可否ト言フテハチヨットキツクナリマスカ知

レヌガ、ドウ云フ御考デゴザイマセウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(濱田國松君) 法人タル信託會

社ニ會計検査ナドヲ許スコトニ付テノ實在

人即チ計理士ナドノ比較ノ關係デアリマ

ス、此法人デアリマシテモ信託會社ノ機能ト云フコトノ性質カラ論ジマシテ、既

ニ信託法ニ依リマシテ遺言信託ト云フ程度

ニマデ認メテ居リマスカ以上ハ、性質トシ

テハ必ズシモ此遺言信託ノ範圍ヲ一歩進メテ、遺言執行者ヲラシメル、實際問題トシ

テハ最早今日ニ於テハ不都合デアアルマイ

ト思フ、色々ノ他ノ法制上ノ關係モアリマ

スルガ、段々此裁判上ノ訴訟手續ナドニ於

キマシテモ、御承知アラセラルガ如クニ、今日デハ法人ニ裁判上ノ鑑定人タルコトヲ

許スト云フヤウナコトニナツテ居リマ

スノデ、一體證人トカ鑑定トカ申シマスカ

ノハ、無論實在人ニ限ルコトハ申ス迄モナ

イノデアリマス、鑑定人ト云フヤウナ特殊ノ機能ヲ要スルコトニ付テハ法人デアツテモ、

鑑定人タルコトヲ妨ゲズト云フヤウナ工合

ニ訴訟法上ノ進歩ヲ示シテ來テ居ルヤウナ次第デアリマス、要スル所實在人ト法人

トノ間ニ於テドナラデナケレバナラヌ、

兩方デアツテハナラヌト云フコトハ、其機能ノ實質論ニ屬スルモノデアリマス、信託會社ガ只今申上デマシタ通りニ會計検査

ヲナスニ最も適當ナル機能ヲ持ッテ居ル法

人デアルトスレバ、法人タルガ故ニ之ヲ許

スベカラズト云フ理窟ハナカラウト思フノデアリマス、此點ニ付テハ司法省ニ於キマ

シテハ反對ハナイ譯ナンデアリマス

○水上長次郎君 只今ノ御答ニ依リマスカ

云フト、信託會社ニ既ニ遺言ノ信託迄ヲモ

許シテ居ルノデアアル、單リ是ト似寄タ信

用ヲ元トスル所ノ會計検査ニ限ッテ許サヌト云フコトハ、ドウモ矛盾ト云ウテハチヨ

ト強イカモ知レマセヌケレドモ、許シテモ

差支ナイ、斯ウ云フ御答ガアリマシタガ、遺言信託ト云フコトハ、御承知ノ通り遺言

者其人ガ會社ノ信用スベキコトヲ自身デ信

ジテ、ソシテ契約若クハ行為ヲスルノデア

リマスカレドモ、會計検査ト云フコトハ、

會社自身ガ自己ノ會社ノ取引先ヲ検査スルコトモアリマセウシ、又世間カラ頼マレテ

スルコトモアリマセウ、會社ノ規則ニ於テ

會計検査ガ出來ルト云フコトニナルト、即チ世ノ中ノ總テノ會社ハ勿論ノコト、總テ

ノ事柄、事業ニ對シテ検査スルニ適當ナル

モノデアルト云フコトヲ公認スルコトニナルハ、ソコガ私ガ少シ違ヒヤセヌカ知ラヌト

會計検査ヲ許シテモ差支ナイト云フコトハ、

其事柄ノ影響ト波及スルコロノ範圍ニ於

テハ非常ニ差ガアリハシナイカト思フ、ソレデモ尙差支ガナイト云フ御考デアリマセ

ウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(濱田國松君) チヨット前ノ御

答スル趣意ヲ取違ヘテ居タト思ハレマス

ルガ、改メテ申上デマス、要スルニ計理士

ガヤリマシテモ信託會社ノ社員ガヤリマシ

テモ、人トシテハ同ジ實在人ガ會計検査ノ

實務ヲ執ルノデ、只會計検査ノ事務ノ囑託ヲ受クルノガ計理士ノヤウナ一個人デア

ルカ、法人デアルカ、信託會社デアルカト云

フ問題デアリマス、所デ法人ト實在人トノ

間ニ於テ、利害當否ト云フモノハ要スルニ

對人信用ノ問題デ、絕對行カナケレバナラ

ヌガラウカドウデアラウカト云フ問題ニ歸

著スルデアラウト思フ、併シ私共ノ考ヘマ

スルノニ、信託會社ハ無論會社ノ業務ノ性

質カラ論ジマシテモ、最大ノ信用ヲ以テ他

同様ニ、信託會社ガ其事務ノ囑託ヲ受ケマシテモ、故ラニ其事務ヲ不誠實不正確ニナスモノダト云フ推測ハ起リマセヌ、一個人ノ計理士ガ誠實ニ計理事務ヲ執ルト同様、信託會社モ極メテ誠實ニ事務ヲ執ルト常態ニ於テ解釋シナケレバナラヌ、一個人デアアルカラ不誠實ガ當然伴フモノトハ限ラヌ、其點一個人ノ計理士ガ誠實ニ事務ヲ執ルト同様、近年進歩シ來レル信託會社ニ付テモ、既ニ遺言執行信託ト云フヤウナ信用ヲ基礎トスル業態スラ許シテ居ルノデアリマスカラ、會計検査ノ如キ事務ヲ之ニ營マシムルモ、大シテ弊害ハナイデアラウト、斯ウ云フ風ニ私共考ヘテ居リマス

○水上長次郎君 司法省ノ御職分シテ凡ユルト云フコトハチヨット語弊ガアルカモ知レマセヌガ、多クノ立法ニ付テハ常ニ御考ヲ持ッテ居ラル、ヤウデアリマスガ、ソレニ付テ伺ヒマスガ、一體司法省ノ御方針トシテハ、成ルベク法人ニハ實在人ニ許シテアルコトヲバ許ス、即チ法人ヲバ擬制人ト見タヨリハ實在人ト見テノ方針ヲ採ラレル方デアリマセウカ、ソコヲ伺ヒマス

○政府委員(濱田國松君) 法人ヲ見ルコト……理論的ニ云ヘバ、擬制說デ行クカ、實在說デ行カト云フコトヲ申シマスコトハ、水上サンノ特ニ御承知アラセラル、通

リ、學說上ニ於テ色々議論モアルノデアリマスガ、併ナガラ私共ノ考ヘマス所ニ依レバ、極端ナル擬制說ハ稍、其說ハ弱マッテ參ッテ居リマスノデ、今日ノ學說上ノ大勢ハ實在說ニ力強キモノガアラウト存ズルノデアリマス、又時運ノ進歩ニ依リマシテ、個々ノ資本ヲ利用スルヨリハ、法人組織ニ依リマシテ、資本ノ運轉ヲ圓滑堅固ニスルト云フ所謂法人組織ノ實業界ナドガ時代ノ進運ニ從ッテ發達シテ參ルト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアリマシテ、而シテアラユル實業界ニ於キマシテ、法制規定ニ從ッテ法人組織ヲ許シマスル以上ハ、某會社ノ定款ノ定ムル所、業務ニ定ムル所ニ依ッテ、其法人ノ爲シ得ルダケノ機能ヲ發達セシムルコトガ寧ロ宜イコトデハナイカト思フノデ、別段或ル種ノ會社ガ法人デアルカラ其會社ノ業務ノ目的性質ガ或ル事業ヲ營ムニ適シテ居ッテモ、法人ナルガ故ニ之ヲ抑制シナケレバナラヌト云フ理窟ハ私ハナイト思フノデアリマス、國家ガ法人組織ノ會社ヲ許シマスル以上ハ、實害ノアリマセヌ以上ハ、其法人ノ會社ノ發達ヲ圖リマシテ、業務ノ機能ヲ十分ニ發揮セシムルト云フコトガ、寧ロ法人ヲ許可シテ居ルト云フ趣意ニ適スルモノデヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、司法省ノ方針ト致シマシテ、殊更ニ法人ノ業務ノ機能ヲ抑壓スルコトガ宜イコ

トダト云フコトモ考ヘテ居リマセヌ、又無制限ニ其會社ノ性質ニ反シテ或ルコトヲ營マシメルコトマデ許可シテ宜イモノダト云フ風ナ說モ採ッテ居リマセヌ、要スルニ會社ノ性質如何ニ歸著スルノデアラウト存ジマス

○水上長次郎君 只今ノ御答ヲ承リマスルト云フト時代ノ進運ト社會ノ發達ニ伴フテ段々ニ此法人モ實在者化スルト云フヤウナ傾向モアル、又サウスルコトガ當リ前ノヤウナ御答デアリマシタ、私モ其點ニ付テハ御同感デアリマスガ、一ツ伺ヒタイノハ、能ク此法人ヲ實在化スルト云フコトヲ主張セラルル方々ノ說ヲ承リマスルト云フト、此西洋……殊ニ歐羅巴トカ亞米利加ト云フヤウナ所デハモウ大概追々ニ法人ヲ實在化シテ、殆ド今日デハ實在人ヤラ擬制人ヤラ何モ分ラヌカノヤウナ有様ヲ呈シテ居ル、獨リ日本ニ於テドウモ兎角法人ヲ信用シナイモノト見エテ、實在化スルト云フコトヲ大變主張シテ居ル、ダカラ益、法人ヲシテ實在者同様ノコトニセシメルノガ、即チ歐米各國ニ追從スルノデハナイケレドモ、其時代ノ趨勢カラシテ見レバ、ソレニ遲レヌヤウニスルノガ當然デアルト云フコトヲ頻リニ高唱スル人ガアル、ソコデ私ハ司法當局ニ對シテ伺ヒタイノハ、當局トシテ御答ハ或ハ御無理カモ知レマセヌケレドモ、唯今ノ御答ニ依ッテ見マスルト、私ノ承ル所ニ依ルト云

フト、歐米殊ニ英吉利獨逸邊リガ、此法人トシテノ經營、法人トシテノ事務取扱振リト云フモノハ、立派ナ信用アル個人ガヤルト殆ド同様ノ有様ノヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、何カ法人ガ失態ヲシタ、或ハ間違ヲシタ時ニハ、決シテ通辭ヲ設ケ、或ハ言譯ヲシテ其責任ヲ逃レルト云フコトハナクシテ、重役初メ其從事員ガ皆進ンデ其救済ヲ圖リ、人ニ迷惑ヲ掛ケヌト云フ所ノ考ガ非常ニ厚イノデス、約メテ申シマスレバ責任感ト云フモノハ非常ニ厚ク、之ニ反シテ日本ノ國民ノ性情ハ如何、斯ウ考ヘマシタナラバドウデアリマセウ、ソレハ皆ガ皆トハ私ハ申シマセヌ、澤山ノ會社ノ中デアアルカラ立派ナ御方モ居ラレマセウ、又立派ナ信用スベキ方モアリマセウ、ケレドモ多クハ唯株式會社デアレバ責任額サヘ委託スレバソレヲ承知シテ取引シタノダカラ其以外ニ責任ヲ責メルノハ無理ナ話デアルト云フヤウナ通辭ヲ設ケ、如何ニ迷惑ヲ掛ケテモ平然トシテ職務上ニアリ、平然トシテ白日橫行シテ居ルト云フコトガ現狀デハアリマセヌカ、或ハ私ノ觀察ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、司法當局ノ御方ガ御覽ニナッタラ、歐米各國デ法人ヲ實在化スルノハサウ云フ所ニ原因ヲ持ッテ居リハシナイカト云フコトヲ私ハ感ジマスガ、當局者ハドウ云フ御考ヘデアリマセウカ

○政府委員(濱田國松君) 法人ノ實在化ニ

付キマシテ、我が國ガ近時歐米各國ニ徒ラニ模倣スルト云フ意味ノコトニ付テノ御質問ガアリマシタガ、是ハ私個人ノ考デアアリマセヌガ、徒ラニ模倣スル譯デハナイノデアリマシテ、ドウシテモ時運ノ發達ニ連レマシテ、此實業若クハ經濟ナドト云フモノハ、漸次世界の共通ノ風潮ヲ帶ビテ來ルコトハ、是ハ世ノ進歩ニ從テ當然起ルノデ、故ニ資本ノ利用ニ付キマシテモ、又實業ノ發達ニ付キマシテモ、日本ノ此有様ガ漸次世界のニ歐米ノソレト同ジヤウナ經濟組織ニナリ、實業組織ニナッテ行キマスノデ、從ッテ日本ノ法律モ西洋ノソレ、歐米ノソレト同ジヤウニ、必要のニ轉化發達ヲシテ行カンケレバナラヌ大勢ニ支配サレテ居ルモノデアラウト思フノデアリマス、別段：日本ハ日本固有ノ此風俗習慣ニ依ッテ、歐米ノ法律制度ヤ、サウ云フヤウナモノトハ全ク無關係、無交渉デ進ンデ行ケバ宜イト云フ御議論モアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ特殊ノ社會組織、經濟組織、實業組織ノ範圍ニ於テ立ツ議論デアリマシテ、日本ニ新タニ發達シテ参リマスルアラユル法人會社ノヤウナモノハ今マデハ日本ニカッタモノデアアルガ、歐米ノソレニ倣ッテサウ云フ法人ナドガ起ッテ参リマシタ以上ハ、又之ニ關スル法制モ從ッテ歐米ノソ

レヲ模倣スルノ已ムヲ得ザル必要ガ茲ニ起ルデアラウト私共ハ存ズルノデアリマス、ソレカラ第二ニハ法人ノ責任感デアリマス、是ハ寧ろ法律問題ヲ離レテ私ハ道德ノ問題デアリハセヌカト思フノデ、株式組織ノ法人ニ於キマシテ、一朝破綻事項ガ發生シマシタ當時ニ於キマシテ、其重役若クハ株主ノ責任ガ株金ノ程度ニ止マルモノデアルト云フコトガ立前トナリマシテ、株式會社法人ヲ設立セラレ、株式組織以外ニ於キマシテモ御承知アラセラル無限責任ノ法人：重役ト云フモノモ世ノ中ニアルコト御承知ノ通りデアル、要スル所是ハ法律上ノ問題デハナイノデアリマシテ、事變アル場合ニ於テ重役ヤ其主タル責任者ガ道德觀念上ドコマデ此世間ニ對シテ責ヲ塞ガカト云フコトハ、是ハ法制問題ヲ離レテ御觀察アッタ方ガ宜イコトデハナイカト思ッテ居リマス、法制ノ立前カラ論ジマスレバ、重役ガ法制以外ニ於テ無理ニ道德上ノ責任ヲ盡セト云フテ見マシタ所ガ、是ハ法制論トシテハ詮ノナイコトデアル、又世間ガサウ云フコトヲ要求シマセヌデモ、非常ニ道德觀念ニ富ンデ居リマスル重役ヤ其他ノモノハ、法制ヲ超越シマシテ十分ニ責任ヲ盡スト云フコトニナル次第デアリマシテ、私ハ實業界ノ道德觀念、實業家ノ道德觀念、法人ノ責任觀ト云フモノハ、法制ト道德上ノ議論ト別ニ

シテ論ズルヨリ致シ方ナイモノデアラウト考ヘルノデアリマス

○水上長次郎君 只今ノ御答ハ、大要ノ御答ハ、ソレハ法律問題デハナイカラ之ハ人ノ見ルトコロニ依テ感ヲ異ニスルト云フ、ソレデアリマスカラ先程司法當局者トシテハ御答ハ御無理カモ知レヌト云フ、御斷リヲシテ置イタノデアリマス、又司法省ニ居ラレテ各般ノ法律ノ制定、或ハ改廢等ニ付テ常ニ御關係ナサッテ居ラレル、廣ク一般東西ノ人情ヲ比較シ、人ノ性情ヲ考ヘテ立法ト云フコトヲセナクチャナラヌコトハ申ス迄モナイコトデアアル、デアアルカラ其點ニ付テノ御高見ハ如何ト云フコトヲ伺ッタノデアリマス、法制上以外ノコトデアアルカラドウアッテモ御答ガ出來ヌト云フヤウナコトナラバ、ソレデモ宜シウゴザイマス、私ハ是デマア...

○子爵織田信恒君 段々色々御質問並ニ應答ヲ伺ッテ居ッタノデアリマスガ、前回ノ時ニ伊藤男爵カラ御質問アッタト思ヒマスガ、遺言ノ執行ト云フコトヲ法人ニ認メタ場合ニ醇風美俗ニ反スルカドウカ、サウ云フ質問ニ對シテ、政府當局ハ是ハ財産ニノミ關係スルノデアアルカラ別段醇風美俗ニ害ハナイト思フ、サウ云フ御答ノヤウニ私ハ思ッテ居ッタノデアリマス、ケレドモ財産ニ關スル場合ト身分上ニ關スル場合トハ、截然ト明ラ

カニナッテ來ル場合モアリマスケレドモ、又場合ニ依テハ財産ニ關スルモノデモッテ必然のニ身分上ノ何カ處置ガ伴フト云フヤウナ場合ガ豫想サレルト思フノデス、サウ云フヤウナ場合ニ對シテハ、此信託會社ニ遺言ノ執行ト云フモノヲ認メタ方ガ宜イカドウカ、サウ云フ點ニ付テ政府當局ノ御意見ナリ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(濱田國松君) 遺言ノ執行ガ單ニ財産ニ關スル場合モアリ、財産ト人事ニ關スル場合モ含ムコトハ、實際上ノ問題トシテハ兩方トモ起ッテ來ヤウト思フノデアリマス、而シテ是ガ實際ノ裁キ方ヲドウ云フコト致シテ參ルカト云ヘバ、左様ナ場合ニハ財産ニ關スル部分ニ付テハ信託會社ガ其遺言ノ執行ヲ爲シ、又人事ニ關スル問題ハ信託會社ニ依託出來ナイノデアリマス、執行ヲ託サレナイノデアリマスルカラシテ、法令ノ立前ニ於テ是ハ個人ノ執行者ニ託サレルコトニナルノデアリマスカラ、共同遺言執行者トシテ箇々ノ事務ヲ執ルヨリ致シ方ナイモノデアラウト思フ、此點ニ付キマシテハ外國ノコトハ必ズシモ例トスルニハ及バナイノデアリマスルケレドモ、ドウモ外國ニハサウ云フ例ハ實際問題トシテ起ッテ居ルヤウデシテ、所謂醇風美俗ヲ害セザル程度ニ於キマシテ、人事ノ方ハ個人ノ執行者ガヤリ、財産ノ方ハ信託會社ニ執

行セシメル、サウシテ共同遺言執行者ト云フコトデ事務ヲ完結セシメルト云フ、斯ウ云フ例ハ外國ニモアルカト承テ居ルノデアリマシテ、日本ニ於キマシテモ、之ヲ實行スルトセバ左様ナ道行キニナルデアラウト心得ルノデアリマス

○子爵織田信恒君 私ノ質問ハ足リナカタノカモ知リマセヌガ、サウ云フヤウナ場合ニ身分ト財産ヲ截然ト分テ得ルヤウナ場合ニ今ノヤウナ共同遺言執行者トナルト云フコトハサウナルノデアリマスガ、私ノ質問ノ趣旨ハサウデハナク、財産ニ關スルモノデ身分上ノ處置ヲ必然的ニ伴テ來ル、截然ト分ラヌ、ソレヲ片一方ヤレバ必ズ伴テ來ル、其時ノ場合ヲ一ツ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(濱田國松君) ソレハ實際問題デアリマスガ、要スルニサウ云フ時ニハ信託會社ハ財産ノコトシカ出來ナイノデ、人事ニ聯絡關聯ヲ致シマシテ其遺言ノ執行ノ場合ニ疑義ヲ生ズル場合ニナツテ來ル、遺言ノ執行ニ伴テ左様ナ困難ノ伴タ時ニハ、裁判所ノ判決ヲ受ケルコトニナツテ居ヤシナイカト思フノデアリマス、民法ノ千百九條等ノ類ガソレデアアルマイカト思ヒマス、即チ信託會社ハ人事ト財産ト兩様ヲ含シタ遺言執行者ト指定サレテモ自己ノ機能ガ財産ダケニ限ラレテ居リマスカラ、人事ハヤ

レマセヌカラ、此遺言ノ執行ハ當會社ノ業務ニ屬シテ居リマセヌカト云フテ遺言ノ執行ヲ拒絕スルノデアラウト思フノデアリマス、サウ云フ時ニハ民法ノ千百九條ニ從ヒマシテ裁判所ガ關係者ノ請求ニ依ッテ新タニ遺言執行者ヲ選任スルト云フコトニナテ所謂實現ガ不能ニ歸著スル、斯ウ云フヤウニナルノデハナイカト心得マス

○子爵織田信恒君 又私ノ私見ニナリマスガ、質問デハナイカモ知レマセヌガ、サウ云フヤウナ時ニハサウ云フ風ナ取扱ヒヲサセナクテモ宜イデスナ、若シモサウ云フ質問ガアル時ハ……

○政府委員(濱田國松君) 左様デゴザイマス、民法ノ千百十二條ニ依リマシテ、サウ云フヤウナ紛ハシイコトガ起ツ場合ニ裁判所ガ關係人ノ請求ニ依ッテ裁判スルノデアリマス、其時ニ遺言者ノ意思ヲ尊重致シマシテ此分ハ信託會社デヤッテ宜イ、此分ダケハ分離シテ誰カ然ルベキ人ヲ選任スル、斯ウ云フ裁判ヲ下ダシ得ル餘裕ガ民法ノ規定ニアルカト心得テ居リマス

○水上長次郎君 チョット司法省ノ政府委員ノ方ニ御尋ネ致シマスガ、法案ハ衆議院ノ方カラ出マシタノデ提出ノ趣意ハドウデアアルカスデアアルカト云フコトヲ御尋ネヌルノハ無理カモ知レマセヌ、併シ既ニ法案トナツテアル以上ハ、ドウモ提出者ガ今此所

ニ居ラレマセヌカラシテ提出者ニ對シテ間クコトモ出來ヌ、仕方ガナイカラ政府ノ御方ニ間クヨリ道ハアリマセヌガ、ソコデ私ノ疑ハ、疑デハアリマセヌ、解釋デハ此第五條第一項四號ノ次ノ五號ヲ七號ニ變ヘル、(五、財産ニ關スル執行、是ハ二ツノ場合ヲ含シテ居リハシナイカト思フ、一ツハ遺言信託ノ遺言執行ト云フコトト、ソレカラ唯單ニ財産ニ關スル遺言ノ執行ト斯ウニツ合マレテ居ルヤウニ見エル、ト云フノハ御承知ノ通り遺言信託ト云フモノガアル、其遺言信託ノ其執行者ト云フモノハ多クハ其信託ヲ受ケル所ノ信任會社ニナツテ居ルカラシテ、受託行為ト遺言執行トヲ同時ニ同一ノ資格ヲ有ツト云フヤウナコトニナツテ信託行為ノ方ハ差支ハナクシテ執行ノ方デ間違ガ起ツテハナラナイカラ斯ウ云フ一ツ特例ヲ設ケテ貰ヒタイ、斯ウ云フ趣意ノヤウニ、何カ書面ノ中ニ出テ居ルノヲ見ルトサウナツテ居リマス、其點カラ申シマスレバ、遺言信託ニ關スル遺言ノ執行ト云フコトノ意味ガ含シテ居リハシナイカト云フ風ニ解スルノデアリマス、ソレカラ又單ニ財産ニ關スル遺言ノ執行デアリマスレバ、遺言信託ヲ離レテ……遺言信託ニ少シモ關係ナクシテ財産ニ關スル遺言ノ執行人タルコトヲ許シテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウニモ解セラレル、提案者ノ趣意ト云フモノハ、ド

チラニ在ルノデスカ、若シモ兩様トモ含シテ居ルト云フコトデアリマスルト云フト、御承知ノ通り遺言ノ執行ト云フモノハ無報酬ト云フコトガ原則ニナツテ居ル、遺言者ガ格段ノ定メアル時ハ別ダ、サモナケレバ無報酬ト云フコトニナツテ居ルノデス、サウスルト會社ハ自分ノ會社ヘ遺言信託ヲシタ時ニハソレニ連レテ無報酬デ執行シマスルノハ、ソレハ損モアリマスマイ、無論歡迎ヲスルデアリマセウガ、遺言信託ヲ離レテ單ニ財産ニ關スル遺言ノ執行ヲシタ時ニハ只デ之ノ執行ヲスルト云フコトニナル、サウ云フコトヲ會社ガ好シデ無報酬デ手續ヲスルコトハ私ハ合點ガイカヌ、ソコデ立案者ノ趣意ハドノ點ニ在ルカ、兩様含マレテ居ルカ、片一方ダケデアアルカト云フコトノ疑ヲ有ツテ居ルノデアリマス、其點ニ付テ先ヅ以テ一ツ提出サレタ當時ノ趣意ヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員(濱田國松君) 提案者ノ趣意ハ審カニ確メタル餘裕モ有テマセヌノデ、或ハ提案者ノ趣意ニ違テ居ルカモ知レマセヌガ、私共ノ信ジテ居ル所ニ依リマス、矢張り是ハ信託遺言ニ伴フ遺言ノ執行ト云フコトニ承知イタシテ居ルノデアリマスガ、遺言ニ依ッテ信託ヲ受ケマシテモ、ドノヤウナ煩雜ナ狀態ニ置カレテ居ル財産デモ信託ヲ受ケル譯ニハ信託法上參リマセヌ場合ガ

アリマシテ、御承知アラセラルル通り、色
色之ヲ何ト云ヒマスカ、之ヲ整理イタシマ
シテ、例ヘバ不動産ガ抵當ニ這入ッテ居ッテ、
此ノヤウナモノヲ抵當權者ノ間ニ色々交渉
シマシテ、其負擔イタシテ居ル抵當債權ヲ
消滅サセマシテモ、サウシテアトヲ完全ニ
信託ヲ受ケテ居ル……

○水上長次郎君 チョット今御答ノ通り私
モサウ云フ趣意デアラウト思ヒマスガ、此
法文デハドナラニモ見エルヤウニ、一般の
ニ財産ニ關スル遺言執行ト云フヤウニ考ヘ
ラレルヤウニ思ヒマスガ、果シテ次官カラ
只今御述ベニナッタヤウナ趣意デアラナラ
バ一般のニナルノハ出題者ノ欲スル所デヤ
ナイト思ヒマス

○政府委員(濱田國松君) ソコハ提案者ノ
意思ヲマダ確メテ居リマセヌノデスガ、一
應サウ云フヤウナ解釋ナノデス

○水上長次郎君 アナタガタニ於テ一般ニ
互ルト御解釋ニナサルノデスカ

○政府委員(濱田國松君) 是ハチョットサ
ウ見エヌヤウニ思フ、私ハ……尙ホ民事局
長ヨリ……一應見ル所ガ……是ハ人々ニ
依ッテ見ル所ガ違フノデスカ、民事局長ヨ
リ……

○政府委員(長島毅君) 私ハ矢張り提案者
デアリマセヌカラ、能ク存ジマセヌガ、恐
ラクハ其制限ニヤッデアリマス所ヲ見マス

ト云フト、遺言信託ニ關聯スル場合ノミナ
ラズ、遺言ノ執行ノミノ場合モ含ムモノデ
アルト解シテ居リマス、又此案ヲ提出スル
前ニ説明ニ來タ方カラモサウ云フ風ニ承知
ヲ致シマシタ、唯サウシマス、御議論ノ
ヤウニ民法ニ於テハ遺言ノ執行ニ付テハ報
酬ヲ取レナイト云フコトニナッテ居ルノデ
アリマス、ソコデ一體此法律ガ出タナラバ、
其關係ハドウナルカト云フコトヲ考ヘテ見
マス、是ハ御承知ノ如ク信託法ニ於キマ
シテ、信託ノ引受ヲ確カ共同シテヤル時ニ
ハ是ハ商行爲ニナルト云フ法文ガアリマス
カラ、商行爲トシテヤルト云フ時ニハ結局
報酬ヲ受ケラレルト云フコトニナルノデア
リマス、唯ソコデ多少議論ニナリマスノハ、
結局民法ニ於テハ遺言ノ執行ト云フモノハ
無報酬デヤルベキデアル、特ニ遺言ニ於テ
何等カノ指定ヲシテ居レバ別デアリマス
レドモ、指定ガナケレバ一體無報酬デヤル
ベシト云フノニ信託會社ガ報酬ヲ得テ遺言
ノ執行ヲヤルト云フコトハ、果シテ民法ノ
規定ニ合ッテ居ルノデアアルカドウデア
ルカト云フ點ハ甚ダ疑問デアリマス、ソレハ併
シ民法全體ノ問題デアリマシテ、結局ソレ
デハ遺言ノ執行ト云フヤウナコトヲ營利會
社ガヤルノガ宜イノデアアルカドウデア
ルカト云フコトガ、是ハ結局問題ニナルノデア
リマス、勿論醇風美俗ト云フコトノ解釋ノ

シヤウ如何ニ依ルノデアリマシテ、近頃ノ
考カラ云ヘバ、先ヅ私個人ノ考トシテハ財産
保護ニ關スル遺言ノ執行デアレバ信託會社
ノヤウナモノガ這入ッテモデスナ、ドウモ私
ハソレガ醇風美俗ニ反スルモノトハ思ヒマ
セヌケレドモ、併ナガラ御承知ノ通り醇
風美俗ト云フ言葉ガ甚ダ曖昧デアリマス
カラ、葬式ノ後デ直グ信託會社ノ使用人ナド
ガ、這入ッテ來テ、サウシテ財産ヲ調査シテ、
其遺言ノ執行ノ趣旨ヲ貫徹スルヤウニ直グ
計ルト云フ……是ハ何レ間ガアッタラ遺言
ノ執行ガ目的ヲ達シマセヌカラ、直グニヤ
ルコトニナリマスガ、サウ云フコトガ果シ
テ醇風美俗ニ背クノデアアルカドウカト云フ
コトハソレハ疑問ハ私アルト思ヒマス、
要スルニ民法ニ於テ信託業法デ民法ノ特別
規定ヲ置イテ報酬ガ無クテモヤラナケレバ
ナラナイ、遺言ニ特別ノ規定ガナケレバ無
報酬デヤルベキモノデアルト云フコトニ結
局此信託業法ニ例外ヲ置イタモノト私ハ解
スルノデアリマス、若シサウデナケレバ信
託會社ガ只デヤラナケレバナラヌト云フコ
トニナルノデアリマス、只デヤルト云フコ
トハ信託業者モソレ程公共的ナ考デヤッテ
居ルノデハナイト思ヒマスカラ、無論之ヲ
改メル趣旨ト私ハ考ヘテ居リマス

○水上長次郎君 局長ノ御考ヲチョット伺
ヒタイノデスガ、此財産ニ關スル遺言ノ執
行ト云フコトダケデ……文句ダケデ、片方
シカ即チ遺言ノ信託ノ場合ヨリ外含ンデ居
ラス、其他ノモノハ含ンデ居ラスト云フコ
トニ解シ得ラレマスカドウカヲ一ツ伺ヒタ
イ

○政府委員(長島毅君) 是ハ勿論今御問ノ
通り私個人ノ考デアリマスガ、斯ウアレバ
ドウモ總テノ場合ヲ含ンダモノト解シマ
ス、ソレデアルカラ、サウ云フ風ニ御答シ
タノデアリマス

○水上長次郎君 ソレカラモウ一ツ御尋イ
タシマスガ、若シ此五號ノ趣意ナラバ遺言
信託ニ關スル事バカリデアアル、斯ウ云フコ
トガ一見明瞭デアラナラバデス、サウシテ
又ソレダケノコトナラ許シテモ宜イト云フ
コトヲ假ニ定メタ所デ、若シ此儘デアリマ
スルト云フト遺言ノ執行ダケナラバ、或ハ
遺者ノ意思ヲ尊重シテ、ドコマデモ、意思
ニ背キ、意思ガ徹底シナイヤウナコトニナ
ルノハ、遺言者ニ對シテハ濟マナイカラ、
ソレダケハ許シテモ宜イガ、併シソレバカ
リデナクシテドンナコトニデモ……ト云フ
トナンデスケレドモ、會社ヘ遺言信託ヲセ
ヌモノデモ何デモ何デモ執行スルコトニ
ナッテ、ドンノヤルト云フコトハ少シモ縁
モ關係モナイコトデアアル、信託會社ニ……
信託會社ヘ遺言信託ヲ受ケタコトバカリハ
受託者ト執行者ト相兼ネテヤルコトガ便利

○水上長次郎君 局長ノ御考ヲチョット伺
ヒタイノデスガ、此財産ニ關スル遺言ノ執
行ト云フコトダケデ……文句ダケデ、片方
シカ即チ遺言ノ信託ノ場合ヨリ外含ンデ居
ラス、其他ノモノハ含ンデ居ラスト云フコ
トニ解シ得ラレマスカドウカヲ一ツ伺ヒタ
イ

○水上長次郎君 ソレカラモウ一ツ御尋イ
タシマスガ、若シ此五號ノ趣意ナラバ遺言
信託ニ關スル事バカリデアアル、斯ウ云フコ
トガ一見明瞭デアラナラバデス、サウシテ
又ソレダケノコトナラ許シテモ宜イト云フ
コトヲ假ニ定メタ所デ、若シ此儘デアリマ
スルト云フト遺言ノ執行ダケナラバ、或ハ
遺者ノ意思ヲ尊重シテ、ドコマデモ、意思
ニ背キ、意思ガ徹底シナイヤウナコトニナ
ルノハ、遺言者ニ對シテハ濟マナイカラ、
ソレダケハ許シテモ宜イガ、併シソレバカ
リデナクシテドンナコトニデモ……ト云フ
トナンデスケレドモ、會社ヘ遺言信託ヲセ
ヌモノデモ何デモ何デモ執行スルコトニ
ナッテ、ドンノヤルト云フコトハ少シモ縁
モ關係モナイコトデアアル、信託會社ニ……
信託會社ヘ遺言信託ヲ受ケタコトバカリハ
受託者ト執行者ト相兼ネテヤルコトガ便利

デモアリ、又遺者ノ意思ヲ害スルコトカナ
イカラ許シテ貰ヒタイト云フ風ニ先ヅ一應
ノ理窟ハ立ツカモ知レマセヌガ、ソレハ宜
イカ惡イカハ別デアリマスル、ソレデ今局
長ヨリ……次官ヨリモ御話ガアツタガ、ドウ
モ兩方兼ネルト云フコトハ甚ダ重大ナ問題
ト思フカラ、又民法上ニ關スルコトハ之ハ
別デアリマスガ、兎ニ角民事ダケバカリヲ
見タ所デ、ドウモ私ハ甚ダ迷フト思フ、マ
アソレハソレト致シマシテ、ソコデ此法案
ハ衆議院ノ提出デアリマシテ、ドナタカ衆
議院ノ議員方ガ代理トシテ提出サレタノデ
アリマセウガ、併ナガラ其根源ヲ尋ネマス
ト云フト、ドウカ、信託協會ノ方カラ頻ニ
請願ト言ヒマスカ所感デアリマスガ、當業
者カラ議員方マデモ話デモシテ、議員方モ
是ハ尤モダト思ウテ提案サレタノデアリマ
セウガ、其根源タル信託協會ノ趣意書ヲ見
ルト云フト、御承知ノ通り信託法ノ第二條
ニハ遺言ノ信託ト云フコトガアツテ、業務中
ノ最も主要ナルモノ一ツデアル、然ルニ
信託法實施以來六箇年ヲ經過シテ、未ダ一
度モ遺言ノ信託ト云フコトヲシタコトガナ
イ、其ナイト云フ譯ハ遺言信託ヲ受託スル
ト共ニ、其遺言ノ執行者タルコトガ出來ナ
イカラシテナイノデアル、斯ウ云フコトガ
書イテアル、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、
信託會社ニ於テ遺言信託ヲ受ケルノニ、執

行者ニナラナケレバ絕對ニ出來ナイ、デア
ルカラ法律ヲ改正シテ、遺言ノ執行者タル
コトヲ許シテ貰ヒタイ、サモナケレバ、信
託法ノ二條ト云フモノハ空文同様ニ屬スル
モノデアル、斯ウ云フ言分ノヤウニ解セラ
レル、果シテサウカドウカソレハ分リマセ
ヌガ、書面ノ上デハサウ書イテアル、ソコ
デ私等ハ疑ガ一ツ起リマシタ、實際ノ事例ニ
付テ一ツ當局ノ御意見ヲ承リタイノハ、私
ハ區裁判所ニ於テ二三遺言ノ實例ヲ聞合セ
マシテ見タノデアリマスガ、其中ニ色ミ
リマスガ、私ノ本案ニ付テ疑ヲ起シテ居ル
點ダケニ付テ申上ゲマスガ、遺言中ニ斯ウ
云フコトガアル、遺産ノ中ノ若干、ソレハ
信託會社ヘ十年間保管シテ、ソレカラ先キ
ニ是メノ者ニ是ダケヤツテ呉レ、是メノ者ニ
是ダケヤツテ呉レト云フ、ソレハ總テ信託法
ニ適テ居ル、サウ云フ約束ヲシテ、サウシテ
其信託會社ノ名ヲ明記シテアル、是メノ事
ハ某信託會社ニ信託スト、斯ウ書イテアル、
サウシテ其次ニ遺言ニ自分ノ息子ヘドレダ
ケ、自分ノ娘ガ嫁入りヲスルトキニ是ダケ
ヤツテ呉レト云フコトガ書イテアル、ソレハ
信託ノ方ニ關係スルコトデアリマスケレド
モ、ソレカラマア色ミアツテ、イヤ此事ダケ
ハ甲某ニ、此事ダケハ乙某ニ託スト書イテ
アル、ソコデ一番初メノ遺言信託ハ某信託
會社ニ頼ムト書イテアリマスガ、此頼ムト

云フコトハ、直グニソレガ執行者トシテ頼
ンダノカ、或ハ其頼ムト云フコトハ他ノ執
行者トナルベキ場合ト同一ニ、他ノ執行者
ヲシテ會社ヘソレヲ申入レルト云フコトノ
意味デアルカ、ソレガ直接遺言デアルカド
ウカト云フコトニ私ハ疑ヲ持テ居ルノデ
アリマス、若シモ初メニ申上ゲマシタ如ク、
サウ云フ場合ハ信託會社ガ執行者デナクシ
テ、其外ノ執行ノ受託ヲ受ケタ人ガ、遺産
ヲ是メノ會社ニ頼ムト云フ遺言ヲ受ケタノ
デアルカラ、其遺言通りノ會社ニ頼ミニ行
ケバ、會社ニ於テハ遺言ノ信託トシテ取扱
フベキガ當然デアリハシナイカ、斯ウ私ハ
思フノデアリマス、果シテソレガ適當ナ解
釋デアルカ、合理的ノ見解デアルカドウカ
ト云フコトヲ當局ニ伺ヒタイ
○政府委員(長島毅君) 現行ノ法制デハ御
承知ノ通りニ法人ト云フモノハ遺言執行者
ニナレナイト大體解シテ居リマス、學說ノ
上ニハ爭ガアルカ知レマセヌガ、大體實際
ノ取扱トシテ法人ハ遺言執行者ニナレナイ
モノト解シテ居リマス、今ノヤウナ遺言デ
アリマス、御想像ノ如クニ遺言執行者ガ
他ニ甲ナリ乙ナリノ者ガアリマシテ、其遺
言執行者ガ遺言ノ執行ニ依ツテ、財産ガ信託
會社ニ委任サレル、委託ハ前ニ遺言デ受ケ
テ居リマスケレドモ、詰リハ事實行爲デ
アル、遺言信託ノ委託行爲ノ執行ヲ遺言執

行者ガヤツテ、ソレニ依テ事實上ニ於テ受託
物ヲ受託者ガ受取ル、即チ信託會社ガ受取
ルト云フコトニ解シテ居リマス
○水上長次郎君 續イテ御尋ネ致シマス
ガ、サウスルト前申上ゲマシタ通りハ、キリ
遺言ニナクトモ、是メノ遺産ハ誰ニ託ス、何
何ノ會社ニ信託スル、斯ウ書イテアツタ場合
ニ、若シ是ガ信託ト云フコトニナレバ即チ
託セラレタ會社ハ執行者ニナルト云フノデ
アルカラ執行者トナレヌ者ヲ假定スルノデ
アルカラ、是ハ無効デアル、無効デアルガ、
其會社ニ託スルト云フ意思ハ確デアル、ソ
コデハ執行者トナリ得ナイ、若クハナル
能ハザル者ニ頼ンダモノデアルカラ、他ニ
執行者ガアレバ此執行者ガ遺言ヲ信託會社
ヘ託ス、若シ執行者ガナイト云フ場合ハ、
執行者ノ指定シテナイ所ニハ裁判所ヘ出テ、
執行ノ指定ヲ受ケル、斯ウナレバ實際上會
社ガ執行者ニナラズトモ、遺言執行者ニナ
ルニ綽々トシテ餘裕ガアルト思ヒマス、其
點ニ付テノ取扱ヒハドウデゴザイマスガ
○政府委員(長島毅君) 改正案ノ趣旨ヲ肘
度スルコトニナリマスガ、結局改正案ノ趣
旨ハ今仰シヤツタコトデモ無論出來ルノデ
アリマスガ、然シ實際ニ於テハ多數ノ複雑
シタ財産ニ付テ遺言信託ガアリマスルヤウ
ナ場合ニ於キマシテハ、別ニ遺言執行者ト
云フヤウナ者ガ間ニ這入ツテ委託ノ執行ヲ

スルノデハ圓滑ニ此間ノ運ビガ付カナイ、
受託會社、信託ヲ向ケラレル會社ガ遺言執行者ニナレバ自分ガ行テ其信託ヲ受ケル、財産ヲ自分占有ト云ヒマスカ、實際ノ支配力ノ下ヘ持ッテ來ルコトガ出來ルノデアルカラ 遺言信託ヲ詰リ始メルノニ非常ニ圓滑ニ行ク、都合ガ好ク行ク、斯ウ云フ趣旨ノヤウデアリマス、提案ノ説明書ニモドックサウ云フコトが見エタヤウニ思ヒマス、法律上下モ其規定ガナケレバ遺言信託ガ行ハレナイト云フノデアリマセヌガ、其方ガ便利ダト云フ趣旨ニ私ハ聞イテ居リマス
○水上長次郎君 法律ニハ民法ニ別段遺言執行者タリ得ベキ者ノ資格能力ト云フモノハ、無能力者ハ別デゴザイマスガ、別ニ定メテナイ、併シ此遺言其ノモノノ性質カラ考ヘマスルト、遺言ノ執行者トスルノハ遺言者ノ極ク別懇ノ人デアルトカ或ハ親族デアリ、其外自分ノ一家ノ内事情ヲ知り抜イテ居ル人ニ頼ムノガ普通デアリハシナイカト考ヘテ居ル、ソレデアリマスカラ執行者トナル人ハ遺言者ノ財産ヲ調べ、或ハ身分上ノコトニ付テモ、即チ遺言者ニ代テ仕事ヲシテヤルコトハ、遺言者ニ於テモ安心シテ之ニ託スルモノト見ナケレバナラヌ、デアルカラ遺言執行者ニハ報酬ヲ與ヘヌト云フ規定モアル、デアリマスカラ遺言スル人が生前ニ別懇ナ者デアッタカラ遺言執行ヲ

引受ケテ呉レルグラウ、又執行者ニ於テモ最期ノ遺言ヲ自分ニ託サレタナラバ、自分ニ取ッテハ光榮デアリ名譽デアアル、喜ンデ遺言者ノ最期ノ意思ヲ満足サシテヤリタイ、斯ウ云フヤウナ關係カラシテ遺言ノ執行者ト云フ者ハ出來ルダラウト考ヘテ居ル、然ルニ若シ此法律デ以テ遺言執行者ナル者ヲチヤント定メテ了フ、サウシテソレヲ一種ノ營業トシテ居ルヤウナ者ニナリマス、ソレハ營業者モ多クハ頼ミマス、萬一之ヲ頼ミマシタ時ニ、此人ガ少シモ生前ノ關係ガアッテ別懇デモナク厭惡デモナイ、遺族ノ人ニ何等ノ面識モナイ人ガ、遺言者ノ報知ヲ受ケルト、見ズ知ラズノ他人ガ私ハ遺言執行ヲ頼マレマシタカラ貴君ノ財産ヲスツカリ調べマス、斯ウ言ハレタラドウデゴザイマセウ、遺言者ノ意思ハ満足スルカ、家族ノ人ガ喜ンデ之ヲ迎ヘルカト云フコトハ、甚ダ疑問トシテ居ルノデアリマス、民法ノ遺言ニ付テノ立法ノ趣旨カラ考ヘ、又日本ノ特別ナル家族制度ノ上ニ付テ、一家ノ秘密、一家ノ平和ハ極メテ大事ナモノデアアル、一家内ノ極メテ複雑ナルモノデアアル、ソレヲバ他人ニ知ラシムルト云フコトハ一種ノ耻辱トシテ、日本ノ風俗トシテアル、ソコエ持ッテ來テ株式會社ノ雇人デアアルカ誰デアアルカ分リマセヌ、見ズ知ラズノ人が飛ンデ行ッテ、一切合切財産ヲ調べル、序

デニ秘密書類モ見ナケレバナラヌ、又他ノ色ニナ大事ナ書類モ見ナケレバナラヌ、財産バカリデ終ラヌノデアリマスカラ、調べルト云フ以上ハ一家ノ物ヲ引繰返シテモ見ナケレバナラヌ、サウ云フコトハ今、日本ノ民法ノ立前カラ考ヘ、又日本ノ國情ヲ察シ、又日本ノ民俗カラ考ヘ、果シテ穩當ナコトデアアルカドウカト云フコトハ非常ニ私ハ疑ッテ居ル、其點ニ付テ當局ノ御考ハ如何デスカソレヲチョット伺ヒタイ
○政府委員(長島教君) 今仰セニナリマシタ所ガ即チ多少疑問ノアル所デアリマスガ、此所謂醇風美俗ト云フモノハ、御承知ノ通り見方ニ依ッテ大變變ルノデアリマス、ソコデ此案ノ主ニ目的トシテ居ルノハ、外國ニ居ル人ノ遺言ノ執行ヤ何ゾニ關スル奴ガ最モ之ニ當嵌マルノデアルト云フコトデアリマス、サウ云フ人デアリマス、親戚ナドハ却ッテ縁ガ遠クナッテシマッテ居ッテ、所謂事實上ノ家族ト云フヤウナ者ハ殆ド無イト云フヤウナ時ニ、此信託會社ナドニ頼ンデ、寧ろ奇麗サッパリトヤルノガ宜イ、随分親類デモ現在ニ於テハナカ、何トモ申サレヌヤウナ世ノ中ノ財産上ニ於テハ必ズシモ潔白ナ人バカリハ居リマセヌデ、却ッテ親類關係ガアルト遺言執行ガ圓滑ニ行カナイヤウナコトガ或場合ニアリマスカラ、サウ云フ關係カラ斯ウ云フ道ヲ明ケテ置クノモ宜

カラウ、斯ウ云フ事ラシイノデアリマス、只併シ今仰シヤッタヤウニ、民法ノ規定ハ所謂無報酬ト云フ主義ヲ採ッテ居リマスカラ、ソレハ報酬ナドヲ取ラナイデ親近ノ者ニヤラセルト云フ方針デヤッテ居ルノデアリマスカラ、民法制定ノ當時ノ考ト確カニ違ッテ居リマスガ、併ナガラ又醇風美俗ト云フ考モ段々違ッテ参リマスノデ、詰リ此點ハ是ハ政府ト言ッテ宜イカ、私トシテハドウモ醇風美俗ノ見方デ多少迷ッテ居ル所デアリマス
○水上長次郎君 只今ノ御答デ分リマシタガドウデセウ、先程次官ニ御尋申シマシタガ、財産ニ關スル遺言ノ執行ト云フ文句ノ中ニハ、見様ニ依ッテ狭クモ見ヘ廣クモ見ヘ、寧ろ廣ク見ルノガ穩當デアラウト思フ、文句カラ見レバ、……ケレドモ趣意書ニ依リマス、遺言信託ニ關スル關係ノ無イ者、ソナコトハ御免ヲ被リタイト云フヤウナ趣意ノヤウニモ解サレル、又法文上サウ解サレルノハ已ムヲ得マセヌカラ、ソレナラバ引受ケマスと言ッタ所ノ遺言ノ執行者トシテハ、成ルタケ範圍ノ狭イ、或職業ヲ遂行スルニ於テ容易ナル丈ケノ事情ガアレバ許シテ宜イカモ知レマセヌケレドモ、ソレニ關係ノ無イ者モ民法ガ眼ヲ開イデ許サナケレバナラヌト云フコトハ可笑シナ話ト思フ、ソコガ定ラヌト云フコトヲチョット困ルデスガ、ドウデスカ、此儘ソレデ差支ナイ御考デゴザイマ

セウカ、是ハ御無理ナ御相談カモ知レヌ
ガ……

○政府委員(濱田國松君) 只今ノ御尋ニ御

答イタシマス、私ハ提案者側ノ非公式ニ提出イタシマシタ書イテ居リマス参考書カ何カデ、今ノ會社ガ財産ノ信託ヲ受ケルニ付テハ遺言ノ執行ヲ兼ネナケレバ都合ガ惡イト云フ意味ガ書イテアリマスカラ、私ハ狭キ意味ノ遺言ノ執行デアルト斯ウ見ルノガ相當ナリト考ヘテ私一個ノ解釋ヲ申上ゲテ置キマシタ、所ガ段々私ノ申上ゲタヨリモ廣キ意味ノ總テノ遺言執行ニ掛ルノダト云フコトヲ、長島政府委員カラ御答ニナッテ居リマスガ、段々考ヘテ見マスノニ、單ニ第五條デ財産ニ關スル遺言ノ執行ト云フ文字ダケデ現ハシテ行カウト云フ改正デアリマスカラ、文字其モノノ解釋カラ申シマスルト、私ガ狭キ意味ダト云フコトヲ申上ゲタノハ文理解釋カラ當ラヌコトニナリマスノデ、長島政府委員ノ申上ゲマシタ廣キ意味ト云フコトデ、提案者ノ意思ヲ推測シタ方ガ穩カト思ヒマスカラ、先刻申シマシタ單ニ信託ヲ受ケタル財産ニ關スル遺言ト云フ狭キ意味ニ於テ御答辯ヲ申上ゲタコトハ取消スコトガ長島政府委員ノ廣キ意味ト云フコトニ叶フ譯デアラウ、商工省ノ政府委員ニ承レバ衆議院ニ於テハサウ云フ應答ガアツサウデゴザイマスガ、私ハソコニ列席

シマセヌカラ十分存ジマセヌデシタガ、廣キ意味トシテ衆議院ノ委員會ハ通過シテ參ッテ居ルサウデアリマスカラ、御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○子爵八條隆正君 極ク素人デアリマスノ

デ、素人的ニ御伺ヒシタイノデスガ、遺言執行ト云フト、我々ガ平素言ッテ居ル事柄ハ大抵人事上身分上ノコトガ多イノデアリマス、其財産ニ關スル遺言執行ノコトハ、平素私共ハ餘リ耳ニシナイノデアリマスガ、事實ハドウ云フモノデアリマスガ、我が國ニ於テ今日遺言ニ依ッテ、財産ニ關スル遺言ノ執行ト云フベキヤウナモノハ極ク件數ガ多イコトデアリマスガ、其點ハドンナモノデアリマセウカ、ソレカラマア普通ノ場合ヲ想像スルナラバ、遺言執行者ト云フモノハ大抵マア親族、友人トカ、サウ云フモノヲ指定スル場合ガ多イト云フコトハ想像サレマスガ、又實際ニ於テ或ハ辯護士デアルトカ、其外何等緣故關係ノ平素ナイ者デアッテ、而シテ法律ナドニ通ジテ居ルト云フヤウナ人ニ遺言執行ヲ頼ム場合ガアリハセヌカト云フ風ニモ想像サレルノデアリマスカラ、必ズシモ財産ニ關スル遺言執行ノ遺言執行者トシテ平素善意ノ者ノミト云フ譯デハナカラウカト思フノデアリマス、而シテ又遺言執行者ニナッタ者ガ、遺言執行者ニナッタ爲ニ財産ノ調査ヲスルト云フヤウナ

場合ニ於ケル其調査ノ方法ト云フヤウナコトデス、是等ノ事柄ノ今日行ハレテ居ル所ノ實情ヲ少シ何ッテ見タイト思フノデアリマスガ、一向素人デアリマシテ、サウ云フコトハサッパリ分ラナイノデアリマス

○政府委員(長島毅君) 是ハ御承知ノ通り

遺言ニ若シ遺言執行者ノコトガアリマスレバ、其人ガ詰リ裁判所ニ關係ナクシテ遺言執行ヲ致シマスノデアリマス、唯遺言執行者ノアリマセヌヤウナ時ニ、裁判所ガ利害關係人ノ請求人ニ依ッテ遺言執行者ヲ選任スルヤウナコトニナル、ソレデアリマスカラ裁判所ニ現ハレルモノトシテハ結局遺言執行者ノ選任ヲ裁判所ニ頼シデ來タ時ニ始メテ事件トシテ現ハレルモノデアリマスカラ、其必要ナクシテ裁判所デ遺言執行者ガ遺言執行ヲ致ス場合ノ關係ニ付テハ裁判所トシテハ餘リ之ヲ知ル機會ガナイノデアリマス、唯遺言執行者ガドウ云フ方法デ財産ヲ調べルカト云フ御尋ネニ對シテ民法ニ規定ガアリマシテ、所謂遺言執行者ハ相續財產ノ目錄ヲ作りマシテ、之ヲ相續人ニ渡スト云フコトニナッテ居リマス、而シテ其目錄ヲ作ル時ニ、若シ相續人ノ請求ガアレバ立會セル、サウシテサウデナケレバ、自分デ作ルトカ、ソレデナケレバ公證人ニ作ラセルト云フコトニナッテ居リマスガ、若シ法律的ニヤレバ此通りニヤルノデアリマスガ、

實際果シテ此通り財産目錄ヲ作ッテヤッテ居リマスガ、ドウデアリマスガ、恐ラクハ半分位ハサウ云フ財産目錄ヲ作ラセズニ、先ヅ話合デ私ハ遺言ノ執行ヲシテ居ルノデハナカラウカト考ヘテ居リマス、只今申上ゲマシタコトハ私ノ想像デアリマシテ、チヨット責任ヲ以テ申スコトハ出來マセヌノデアリマス

○子爵八條隆正君 裁判所ニ現ハレナイ所

ハ裁判所トシテ調べル機會ハナイデアリマセウカ、裁判所ニ現ハレテ來ル件數ト云フモノハ事實非常ニ澤山アリマセウカ、ソレカラ又現ハレタ場合ニ於テ裁判所ガ公證人等ニヤラセル場合ニハ矢張り正式ノ財産目錄ヲ調製スルトカ何トカ云フヤウナコトヲヤラナケレバナラヌノデアッテ、公證人ガ好イ加減ナ素人的ノ處置ハ執リ得ナイダラウト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニハ又相當先程信託會社ガヤル場合ヲ想像シテノ何ト云ヒマスガ、其醇風美俗ニ反スルヤウナコトモ餘リ感情上面白クナイヤウナ方法ヲ矢張りヤラヌケレバナラヌト云フヤウナ風ニ想像サレルノデアリマスガ、如何ナモノデアリマスガ

○政府委員(長島毅君) 裁判所ガ遺言執行者ヲ選任イタシマス時ニ於テハ、矢張り其親族ヲ選ブコトガ出來ルノデアリマスカラ、多クノ場合ニ於テハ實際トシテハ此最

寄りノ親族ノ者ノ意見ヲ聴キマシテ、サウシテ大體親族ヲ選ブト云フコトニナッテ居ルヤウデアリマス、サウ云フ者ガゴザイマセヌケレバ勢ヒ是ハ辯護士ヲ選ブト云フヤウナコトニナリマスガ、出來レバ今ノ方針トシテ親族ヲ選ブコトニナッテ居リマス、果シテ其方針ガ善イカ惡イカハ別デアリマスケレドモ、民法ハ御承知ノ通りニ大體ニ於テサウ云フコトニナルモノダト云フコトヲ想像シテ出來テ居リマスカラ、現在裁判所ノ扱ヒトシテハサウ云フ者ヲ遺言執行者ニ出來レバスルヤウニイタシテ居リマス、ソレカラ公證人ト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、私ノ申上ゲヤウガ少シ足リナカッタノデアリマスガ、遺言執行者ガ財産目錄ヲ作ル場合ニハ、自分ガ作り又ハ公證人ヲシテ作ラセルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスコト子爵八條隆正君 ソレカラ尙ホ一點伺ヒタイノハ信託協會ナドカラ送ッテ來テ居ル書類ニ依リマス、色々外國ノ事例ナドヲ舉ゲテ居リマスガ、其中ニ一例トシテ我國ニ於テモ民事訴訟法三百十條ニ於テ法人ノ鑑定人ト云フコトヲ明示シテ居ル、斯ウ云フヤウナ制度ハ大正十五年ニ出來タト云フコトヲ言ッテ居リマスガ、法人ノ鑑定人ト云フモノヲ認メタ立法當時ノ趣意ト云フヤウナモノハドウ云フ所カラ、殆ド新タニ法人ヲシテ、鑑定人ニ當ラシムルト云フヤウナ

例ガ開カレタノデアリマセウカ、其當時ノ立法ノ事情ヲ伺ッテ見タイと思ヒマス

○政府委員(長島毅君) 是ハ水上委員モ御承知ノコトト思ヒマスガ、結局個人ニ鑑定ヲ頼ミマスト云フト不便ヲ感ズル場合ガアルノデアリマス、ソレハ或ル一ツノ設備ヲ用キテ、サウシテ鑑定ヲシナケレバナラヌ、此鑑定ヲスル場合ニ各種ノ藥品ガ要リマストカ、各種ノ設備機械等ガ要ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、個人ニ頼ムヨリハ結局法人ニ頼ム方が都合ガ好イ、其法人ノ詰リ設備ヲ使フ上ニ於テ非常ニ便利デアルト云フヤウナコトカラ結局來タノデアリマス

○男爵伊藤文吉君 先程織田子爵カラ御質問ニナッタ點ニ付テ政府委員カラ御答辯ガアリマシタガ、甚ダ抽象的デ能ク分リ兼ねマスガ、其御質問ハ財産ニ關スル遺言ヲ執行スル場合ハ當然身分上ノ關係ニマデ立行カナケレバナラヌ場合ガアル、サウ云フ場合ニハドウ云フ扱ヒデアルカト云フ質問ニ對シテ民法ノ條文ヲ御引キニナッテ御説明ガアリマシタデスガ、ドウモ抽象的ノ話デ、サウ云フ場合ガ分リ兼ねマスシ、又ソレニ對スル處置ノ手續モハッキリ致シマセヌ、何カ斯ウ云フヤウナ場合ト云フ一ツ具體的ノ例證ヲ御舉ゲニナッテ、其場合ニハ民法ノ第何條ニ依テ斯ウ云フヤウナ始末ヲスルト云

コトニナリマスカラ、家ニ這入り込ンデ財産ヲ洗ヒ浚ヒ調ベナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、又遺言ニ依リマシテハ趣旨ガ必ズシモ明瞭デナイモノガアルノデアリマス、財産ノドノ財産ハ誰ニヤル、ドノ財産ハ誰ニヤルト云フコトガハッキリ遺言ニ書イテアレバ、是ハ殆ド問題ガナイノデアリマスガ、遺言ニ財産ノ何分ノ一ヲ誰ニ又何分ノ一ヲ誰ニヤルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、之ヲ若シ遺言ノ趣旨ノ通りニヤラウトスレバ結局此財産ヲ賣拂ッテシマッテ金ニシテ之ヲ分ケルト云フコトニナル外仕方ガナクナルノデアリマスガ、實際ニ斯ウ云フコトハ日本ノ現在ノ遺言ニハ副ハナイノデアリマス、御承知ノ通り外國ノ遺言デハ遺言ト同時ニ清算ヲスルト云フ制度ガアリマシテ、是モ私ハ能ク存ジマセヌガ、亞米利加カ何處カデハ確カ清算ヲスルンダサウデスカラ、斯ウ云フ趣旨ニ依リマシテ勿論徹底的ニ財産ヲ分ケラレマスケレドモ、日本ノヤウニ借金ハ借金デ相續人ニ行ッテ、財産ハ財産デ又相續人ニズルト移ッテ行クト云フヤウナ制度デアリマス、財産全部ヲ清算スルト云フ譯ニ行キマセヌカラ、ソコデ總財産ノ三分ノ一ハ誰、四分ノ一ハ誰ト云フヤウナ遺言ガアリマシタ時ニ財産ヲ賣拂ッテ金ニスルト云フヤウナサッパリシタヤリ方ハ出來ナイ、サウカト言ッ

例ガ開カレタノデアリマセウカ、其當時ノ立法ノ事情ヲ伺ッテ見タイと思ヒマス

○政府委員(長島毅君) 是ハ水上委員モ御承知ノコトト思ヒマスガ、結局個人ニ鑑定ヲ頼ミマスト云フト不便ヲ感ズル場合ガアルノデアリマス、ソレハ或ル一ツノ設備ヲ用キテ、サウシテ鑑定ヲシナケレバナラヌ、此鑑定ヲスル場合ニ各種ノ藥品ガ要リマストカ、各種ノ設備機械等ガ要ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、個人ニ頼ムヨリハ結局法人ニ頼ム方が都合ガ好イ、其法人ノ詰リ設備ヲ使フ上ニ於テ非常ニ便利デアルト云フヤウナコトカラ結局來タノデアリマス

○男爵伊藤文吉君 先程織田子爵カラ御質問ニナッタ點ニ付テ政府委員カラ御答辯ガアリマシタガ、甚ダ抽象的デ能ク分リ兼ねマスガ、其御質問ハ財産ニ關スル遺言ヲ執行スル場合ハ當然身分上ノ關係ニマデ立行カナケレバナラヌ場合ガアル、サウ云フ場合ニハドウ云フ扱ヒデアルカト云フ質問ニ對シテ民法ノ條文ヲ御引キニナッテ御説明ガアリマシタデスガ、ドウモ抽象的ノ話デ、サウ云フ場合ガ分リ兼ねマスシ、又ソレニ對スル處置ノ手續モハッキリ致シマセヌ、何カ斯ウ云フヤウナ場合ト云フ一ツ具體的ノ例證ヲ御舉ゲニナッテ、其場合ニハ民法ノ第何條ニ依テ斯ウ云フヤウナ始末ヲスルト云

コトニナリマスカラ、家ニ這入り込ンデ財産ヲ洗ヒ浚ヒ調ベナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、又遺言ニ依リマシテハ趣旨ガ必ズシモ明瞭デナイモノガアルノデアリマス、財産ノドノ財産ハ誰ニヤル、ドノ財産ハ誰ニヤルト云フコトガハッキリ遺言ニ書イテアレバ、是ハ殆ド問題ガナイノデアリマスガ、遺言ニ財産ノ何分ノ一ヲ誰ニ又何分ノ一ヲ誰ニヤルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、之ヲ若シ遺言ノ趣旨ノ通りニヤラウトスレバ結局此財産ヲ賣拂ッテシマッテ金ニシテ之ヲ分ケルト云フコトニナル外仕方ガナクナルノデアリマスガ、實際ニ斯ウ云フコトハ日本ノ現在ノ遺言ニハ副ハナイノデアリマス、御承知ノ通り外國ノ遺言デハ遺言ト同時ニ清算ヲスルト云フ制度ガアリマシテ、是モ私ハ能ク存ジマセヌガ、亞米利加カ何處カデハ確カ清算ヲスルンダサウデスカラ、斯ウ云フ趣旨ニ依リマシテ勿論徹底的ニ財産ヲ分ケラレマスケレドモ、日本ノヤウニ借金ハ借金デ相續人ニ行ッテ、財産ハ財産デ又相續人ニズルト移ッテ行クト云フヤウナ制度デアリマス、財産全部ヲ清算スルト云フ譯ニ行キマセヌカラ、ソコデ總財産ノ三分ノ一ハ誰、四分ノ一ハ誰ト云フヤウナ遺言ガアリマシタ時ニ財産ヲ賣拂ッテ金ニスルト云フヤウナサッパリシタヤリ方ハ出來ナイ、サウカト言ッ

テ家デアルトカ地所ナドハ半分トカ三分ノ一ト云フヤウニ分ケル譯ニ行キマセヌカラ、ドウシテモ是ハ家ハ幾ラ土地ハ幾ラト見積テ誰ニヤル、定期預金ハ誰ニヤルト云フヤウナ方法ニ依ルヨリ外仕様ガナイノデアリマス、サウナリマスト云フト、結局財産ノ執行ヲ致シマシテモドウモ家庭ニ這入ルト云フコトニナルデアリマス、是ハ結局法律カラ言ヘバ決シテ人事デアリマセヌ、財産關係デアリマス、人事ノ關係ト云フモノハ財産ニ關係ノアリマセヌ、御承知ノ通りニ認知スルトカ、隱居ヲスルトカ、廢家ヲスルトカ、分家ヲスルト云フヤウナコトダケデアリマスカラ法律ノ見解カラ申スト、今申シマシタヤウナ遺言ハ決シテ人事關係ハゴザイマセヌ、又法律ノ條文トシテ財産ノミニ關スル遺言デアリマスカラ解釋ノ上ニ於テハ殆ンド疑ガナイデアリマシタ、併シ通俗ニ所謂人事ト云フコトカラ申セバ遺言ノ執行ト云フモノハ多クハ通俗ニ所謂人事ニハ關係ガアル、親族關係トカ、家庭關係ニハ關係ガアルヤウニ解釋スベキモノデアアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○水上長次郎君 先程カラ御答辯ヲ伺テ居リマシタガ、財産ニ關スル遺言ノ執行ト云フコトハ、即チ人事ト區別シテ單ニ財産ニ關スルバカリノ遺言ノ執行ダケ、斯ウ云

フコトデアリマスガ、只今當局カラノ御答ヘニ依リマスト云フト、是ハ或ル場合ニ於テハ財産ト人事トハ劃然ト區別スルコトガ出來ル場合モアル、又區別シ難イヤウナ場合モアルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私ハ一例ヲ舉ゲマシテ御尋ネヨシタイノデスガ、遺產百萬圓、其内五十萬圓ハ例ヘバ二十年間据置キデ、ソレカラ先ハシカジカト、サウシテ自分ノ娘ガ三人居ル、其娘ガ嫁入ヲシタ時ニハ費用ヲヤツテ呉レ、併シ其高ハ示サレナイ、併シ嫁入ヲシタナラバ其行先或ハ其時代其他其當時ニ於ケル相當ノ……身分相當ノ拵ヘヨシテヤツテ呉レ、又二男ハ分家ヲサシテ貰ヒタイ、併シ分家ハ本人ガ承諾スルヤラセマヤラソレハ判ラヌ、若シ遺言ニ依テ承認ヲシタナラバ其内カラ分家ヲシテ一家ヲ支ヘ得ルダケノ資本ヲヤツテ呉レ、斯ウ云フ遺言ヲシタ、是ハ遺言トシテ或ハ不完全デアアルカモ知レヌ、又是ハ遺言ノ信託トシタナラバ十分デアアルカモ知レヌ、信託會社ニ依テハサウ云フ不明ナ信託ハ御引受スルコトガ出來ナイ、相當ナト云ハレタ所デ相當ナト云フコトハソレハドウモ解リマセヌ、私ノ方ハ金三千圓ヲ御預リシタノデアツテ此内百圓ヤレ、千圓ヤレト云フコトナラバソレハモウ委細承知イタシマシタ、サウ云フ時代相當、身分相當、行先ニ依テ又親類ノ手前

ト云フヤウナ色ノ人事ニ付テ條件ガアルト云フト、ソレハドウモ解リマセヌ、斯ウ云フ場合ニハ財産ノ處理ト云フコトニ付テハ非常ニ人事關係ヲ見ナケレバナラヌ、斯様ナ時ニハドウ云フモノデセウ、是ハマア一個トシテ私ハ研究トシテ伺ヒタイノデアアルカラ當局者トシテ御責任ヲ以テ御答ヘガナクトモ宜シイカラ私ヲ教ヘルトシテ御答ヘヲ願ヒタイ

○政府委員(長島毅君) 大變ムヅカシイ御問ヒデアリマシテ、チヨット私モ御即答上ダレノニ稍、困難ヲ感ズルデアリマスガ、餘リ非常ニ長クナリマス一體ソレガ遺言ノ執行ニナリマスガ、サウデナクシテ財産ハ一旦相續人ノモノニ移リマシテ、相續人ガサウ云フ義務ヲ負フト云フヤウナコトニナツテ、所謂遺言執行者トシテ頼マレテ居ル者ガ結局相續人ガサウ云フコトヲヤルヤウニシ向ケルト云フ趣旨ニナリハシナイカ、其處ハ非常ニ疑問デアリマスガ、餘リ長イ期間ニナリマスドドウモ遺言ノ執行ト云フコトガ言ヘルカドウカト云フコトガ疑問ナシデアリマス、例ヘバ自分ノ財産ヲ、此財產ハ無論相續人ノモノニ移ルノデアアルガ、其財產ノ中カラ收益ノ何分ノ一ナラ何分ノ一、或ハ弟ナラ弟、自分ノ息子、自分ノ長男、自分ノ次男、或ハ嫁ニ行テ居ル自分ノ娘ニヤツテ貰ヒタイ、其相續財產ノ收益ノ何

分ノ一ヤツテ貰ヒタイト云フヤウナ遺言デアリマス、ドウモ遺言ノ趣旨ガ相續人ニ一旦財產ガ全部移リマシテ、相續人ガ詰リサウ云フ負擔ヲ遺言ニ依テ命ゼラレルノデアルト云フヤウナ風ニモナリハシナイカト思フノデアリマスガ、併シ又翻テ考ヘテ見ルト云フト、サウ云フ長イ期間ニ執行ノ伴フヤウナ遺言デアツテモ無効デアルト云フ趣旨モナイノデアリマスカラ、或ハ御問ヒノヤウナ風ノ遺言ガ有效デアツテ引續キ或ル經費ヲ出ストカ、或ル期間ヲ經過シタ後ニ於テサウ云フ效力ヲ生ズルヤウナコトニナルカモ知レマセン、ソレナラバ餘程問題ガ複雑ナモノニナリマシテ、結局サウ云フヤウナ趣旨ノモノハモウ信託會社ニ於テ引受ケナイト云フコトニ私ハナルガラウト思ヒマス、チヨット其點ハハッキリ今御答スルコトガ出來ナイノデアリマス

○水上長次郎君 尙ホ私ハ承リタイノデアリマスガ、今ノ御答ノ通り餘リ長クナツテ見ルト云フト信託執行ノ期限ガ長クナルト云フコトデアルト云フト色々複雑ナル關係ガ生ジテ來ル、ソレハ御尤モデアリマスガ、例ヘバ法律デ二年以上ト云フコトニナツテ居リマス、二年若クハ五年ノ間相當短イ、餘リ忘レナイ時間ニ色々今ノヤウナ人事ト財産ノ處分ノ關係ガ非常ニ密著シテ居ルヤウナ場合デアリマスガ、其場合ニ於テ之

ガ斯ウダト云フコトヲオ決メニナルコトハ御確答ハ出来マスマイガ引クルメテオ尋ネイタシタイノハ、此遺言ノ種類ト云フモノハ千差萬別デ、又遺言者ノ意思ト云フモノハ其人ノ考デドウ云フ複雑ナコトニナルカモ知レマセヌガ、先ヅソレ等ヲ豫見シテ凡ソ此遺言ニハ瞭キリ財産ト人事トノ區別ノ付クモノガアル、併ナガラ遺言ノ趣旨ニ依ッテハ財産ト人事トノ區別スルコトノ出来ナイ、言ヒ換ヘマズレバ財産ノ執行ハ一人ダト出来ナイ、人事ノ執行モ、一人ダト出来ナイ、財産ノ執行者ト人事ノ執行者トガ協議熟議シテ合致シナケレバ全體ノ執行ガ出来ナイト云フ場合ガ幾ラモアルト云フコトヲ御認メニナリマスカドウカ

○政府委員(長島毅君) ソレハ法律的ニ見レバ先刻私ガ申シタヤウニ人事ノコトト財産ノ事ハ別ニ分ケラレマスケレドモ實際ノ取扱、ソレカラ實際ノ人情カラ言ヘバ、不可分關係ニ立ツヤウナ場合ガ相當アルト私モ思ッテ居リマス

○水上長次郎君 若シ此法ガ改正ニ、法案通りノ改正ガ出来マスト云フト、斯ウ云フコトガ實際起リハシナイカト云フコトヲ私ハ考ヘテ居リマス、信託會社ノ方ハ財産ニ關スル遺言ノ執行ダケデアル、人事ニ付テハ一切關係ガ御座ラヌ、ソコデ他ノ一面ニ於テ人事ニ關スル即チ身分ノ移動ニ付テ執

行者ガ他ニアル、ソコデ人事ニ關スル方ト財産ニ關スル方トハ共同ノ執行者ト言ハナケレバナラヌ、法律デハ遺言執行者ガ數人アルトキハ協議シテヤレト云フコトニナッテ居ル、此場合ニハ信託會社ハ遺言ノ財産ノ委託許リニ關シテ執行者トナリマシタノデアリマスカラ、人事ニ關スル遺言ニ付テハ私ノ方デハ關係ハ出来マセヌト云フコトハ言ハレナイト思フ、何トナレバ一ツノ遺言ニ於テ出来タ遺言委託デアルガ、執行者ハ何人モ居ル、サウ云フ場合ニ親類縁者デ遺言者ニ極メテ親懇ナ人ト、サウシテ全ク其家庭ニハ其遺言者ノ一家ニハ關係ノナイ唯營利一片ノ營業ヲシテ居ル社員デアルカ何デアルカソレ等ノ人ト、一々人事ニ付テ協議ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトガ出来ルトウマク纏マリヤ宜シイ、ウマク纏ラナイト或ハ訴訟沙汰ニナルカ或ハ又權限爭ヒデアッテ肝腎ノ遺言委託ノ執行上ニ支障ヲ來タスト云フヤウナコトガアリハシナイカト云フコトヲ私ハ憂フルノデス、或ハ杞憂カモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角憂フル、當局ニ於ケレハサウ云フヤウナコトモ有リ得ルト云フ御考デアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(長島毅君) 結局此問題ニナリマス、信託會社ノ信用問題デアリマスガ、信託會社ガドウモサウ云フ面倒ナモノナラバ辭退ヲスルト云フコトニナルグラウト思ヒマス

○水上長次郎君 チョット、否ソレハ辭退セヌト云フコトニセナケレバ、辭退スルナラ話ハナイノデスカラ先ヅ引受ケルトシテノ私御尋ヲシテ見タイ、愈、執行スル上ニ付テ...

○政府委員(長島毅君) 愈、若シ引受ケタトシマスレバ民法ノ數人ノ遺言執行者ガアルトキ共同シテヤルト云フ規定ハ無論信託法デヤ排除イタシテ居リマセヌカラ、無論此規定ニ據ラナケレバナラヌト思ヒマス

○水上長次郎君 宜シイ、ソレハ御説ノ通りデス、私ガ申上デマスノハ、遺言信託ヲ受託シタ、又ニ遺言信託者ガアル、ソコデ他ノ者ト信託會社トハソレハ各、立場ガ違フ、一方ハ財産、一方ハ人事デアルガ、其財産ヲ處理スル上ニ付テハ人事ヲ無視シテモ出来ナイ、サウスルトドウシテモ其間ニ執行者ノ間ニ協議ヲセナケレバナラヌ、サウ云フ交渉ヲ談判ト申シマスルカ、サウ云フ縛レト云フモノガ果シテ家庭ノ一家ノ平和ト云フモノヲヨリ圓滿...ト云フニモ及ビマセヌガ、一家ノ平和ト云フモノハ害セズニ濟ムカ、或ハ其間ニ權限爭ヒト申シマセウカ、或ハ職業爭ヒト申シマセウカ、色ナ縛レ紛擾ガ生ジヤセヌカト私ハ思フ、サウ云フ時ニ均シク遺言者ノ委任ガアッテ

モ、均シク遺言者デアッテモ、親族トカ或ハ朋友トカ別懇トカ云フ關係ヲ有ッテ居ルナラバ何等憂ヘルコトハナイ、其處ヘ一方遺言信託ニ依ッテ利益ヲ得ル人ガ其處ヘ這入ッテ居ルト云フト、一方ハ人事ヲ重ンジ、一方ハ財産ヲ重ンズル、斯ウ云フコトニナルノハ當然グラウト思フ、サウスルト財産ニ關スルトハ云フ以上、人事ニ嘴ヲ入レ、人事ニ付テ彼レ此レ意見ヲ關ハスト云フコトニナルノハ當然グラウト思フ、サウ云フコトハ、私ハソレハ始終アルトハ申シマセウガ、サウ云フコトハ有リ得ルトグラウト思フノデスガ、當局ノ御意見ハドウデアリマセウ

○政府委員(長島毅君) 是ハ其私ガ先御斷ハリ申シタ通り醇風美俗ト云フ事ノ解釋如何ニ因ルノデアリマス、ソレデ家族關係ヲ重ンジテ、此家族關係ニハ、親族以外ノ者ニハ可成口ヲ入レサセナイト云フ方ガ醇風美俗デアルト見マスガ、或ハ親族ノ中ニハ隨分良クナイヤウナ人間ガアルノデアリマスカラ、親族デナクテモ眞直グナ人間ヲサウ云フ關係ニ入レタ方ガ宜シイカ、入レルコトガ必ズシモ醇風美俗ニ反シナイカト云フコトニ付テ、大體ニ於テ見解ノ分レルコトデアルト思フノデアリマス、御問ヒノ場合ニハ限ラナイノデアリマシテ、私ガ先申シタヤウニ、一體財産ニ關スル遺言ノ執行ヲ

始メルト云フコトデアレバ、必ズヤ財産ヲ調ベナケレバナラヌ、サウ云フ場合會社ノ使用人ナゾガ這入ッテ來テ、人ノ財産ヲ調ベルト云フコトハ一體醇風美俗ニ背クノデア

ルカドウカ、感情ノ上カラ云フト何ダカ其人ガ亡クナッテ直グ後ニ、他人ガ這入ッテ來テ財産ヲ調ベルト云フコトハ、吾々舊式ノ頭腦カラ考ヘルト氣持ガ惡イヤウニアリマス

ケレドモ、考ヘテ見レバ是モ遺言者ノ意思デアルカラ、遺言者ガソレデ宜イト云フノデアレバ仕方ガナイト云フノモ一ツノ見方デア

アリマス、結局此問題ニハ今ノ御問ヒハ場合モアリマシテ、三人ナラバ三人ノ親族ト、一人ノ信託會社ノ關係ノ者ガ協議ヲス

ル、結局親族以外ノ者ガ嘴ヲ容レルト、醇風美俗ニ反スルト云フコトニナレバ、此案ハ不穩當ナ事デアル、ケレドモ一方カラ云

ヘバ親族ノ間ニハ眞直グデナイ人モアリマスルカラ、却ッテ第三者ノ人ガ這入ッテ來ル

ト云フノガ宜イノデアルト云フ事カラ申セバ、必ズシモ此案ガ惡イト云フコトニハナ

ラナイノデアリマシテ、結局根本ハ醇風美俗ガ何處ニ在ルカト云フ見方ノ問題ニナリ

ハシナイカト考ヘテ居リマス

○水上長次郎君 チョットエライ執拗イヤウニナシマスガ、實ハ私ノ御尋シマシタ

コトハ、極ク簡單ニ申上ダルト云フト、財産ニ關スル遺言ト、人事ニ關スル遺言トハ

分ケテ分ラスコトモアルマイガ、一ノ遺言デアル以上ハ兩方トモ共通シテ居ルモノデア

アル、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ不可分ノコトモ幾ラモアル、若モ財産ノ執行ト人事ノ執行

トヲ別々ニシタナラバ其間ノ交渉複雑ト云フコトハ免レヌト云フコトヲ御認メニナル

カ御認メニナラスカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ實際ノ扱トシテハ雙方ゴザイマス

○水上長次郎君 宜シウゴザイマス

○根津嘉一郎君 信託法ニ付テハ大分御質問ガアリマシタガ、モウ御質問ハ是デ打切

リニナスッたら如何デスカ、大抵御質問モ盡キタヤウニ思ヒマス

○委員長(侯爵大久保利武君) 如何デスカ

○子爵八條隆正君 ハッキリ打切ッテシマウ必要モナイカト思ヒマスガ、此邊デ止メ

マシテ、取引所法ノ方ニ入ッたらドウカト思ヒマス、斯ウ云フ風ニシタラ如何デスカ

○根津嘉一郎君 ソレハ皆サンニ御異存ガアリマセネバ……、私ハココデ止メテ置イテ……、尙ホ繼續シテヤルガ、マア取引所法ニ移ル、斯ウ思ヒマスガ、如何デス

○委員長(侯爵大久保利武君) 如何デス

○男爵伊藤文吉君 今ノ御話ハ質問ハ是デ終結ト云フコトニ了解シテ宜シウゴザイマス

○子爵八條隆正君 質問モデスネ、若モ何カ又質問シタイコトガアレバ、更ニ其取引

所ノ質問ノ終了後ノ、討議ニ入ル前ニ質問ヲヤッテモ宜イト思フ、併シ大體事柄ガ極メ

テ簡單ナコトデアアルノデアリマスカラシテ、略ボ只今マデノ質疑ニ依ッテ大體終ッ

ラウト思ヒマス、サウシマスレバ、此委員會ニ付託ナレテ居ル他ノ取引所法改正案ノ

方ヲ質問ヲスルト、斯ウ云フコトニ致シマシテ、ソレガ終ッたら或ハ又信託業法ノ質

問ノ殘ッタモノガアレバ、其際ニヤル、斯ウ云フコトニシタラドウカト思フノデス

○根津嘉一郎君 質問ト採決ハ他日ニ譲ルト、斯ウ云フ譯ナンデスネ

○子爵八條隆正君 採決ハドウデモ……、私ノ考ハ只今申上ダク趣意デ、採決ハ兩方一

緒ニヤルカドウカ……

○委員長(侯爵大久保利武君) 段々皆サンノ御意見モ出ルヤウデスガ、斯ウシテハ如

何デスカ、信託法ニ關スル質問ハ大體一段落ツイタヤウデアアルガ、尙ホ後ニモウ一ツ

法案ノ質問應答ヲセネバナラヌノデ、其方ニカカッテ又後デ質問ヲヤッテモ妨グヌト、

無論討論ハ其後ニ譲ルノデアリマスガ、サウ云フコトニシテココデ一段落ツイタコト

トシテ、取引所法ノ方ニ移ル、斯ウ云フヤウナコトニシタラ如何デスカ

○委員長(侯爵大久保利武君) ソレデヤサウ云フ風ニ決定イタシマス、尙ホ私チヨット

商工省ノ政府委員デ御答ノ出來ルコトデアリマスガ、チヨット御尋イタシタイコトハ、

此信託會社ノ許可ノ政府ノ御方針デスガ、此信託會社ハ特許主義デ是モ許可サレルノ

デアリマスガ、他ノ保險業法トカ、取引所法トカト同様ニ、特許主義デ許可スルコト

ニシテ居ラレルノデスカ、此法案デハ百萬圓以上、資本ニ制限ガ置イテアルノデアリ

マスガ、是ハ大藏省ノ方ノ内規等ガアッテ、或ハ資本ニ制限ヲ置イテ、ドノ位以上デナ

クテハイカヌトカ、或ハ地區ヲ限ッテドノ位

以上ヲ許ストカ、ドノ位ニ限ッテ許ストカ、

云フヤウナ、其許可ノ上ニ付テ、内規トカ

何トカサウ云フ制限ヲ設ケテ許シテ御出デ

ニナルノデアリマセウカ、或ハモウサウ云

フコトモナシニ、唯ダ相當ナモノデアレバ

許スト云フヤウナコトニナッテ居ルノデア

リマセウカ、此質問ヲ申上ダルトハ此信託

業ハ申スマデモナイコトデ、重大ナル財産

ノ管理維持保全ヲ扱ッテ居ル事業デアリマ

スカラシテ、餘程其許可ノ上ニ付テハ御詮

議ノ上デ、將來事業上ニ付テ信頼シ得ルト

云フ見込ガツカヌト云フト、段々今度ノ法

案ニモ現ハレテ居ル如ク、重要ナル信託ヲ

行フコトニナルノデアリマスカラシテ、若

シ何フコトガ出來レバサウ云フ許可ノ御方

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

針ヲ伺フコトガ出来レバ仕合セト思フノデアリマス

○政府委員(牧野良三君) 是ハ全ク大藏省ノ方ノ關係デ、商工省ノ方デハ内規ノ方ハ分ツテ居リマセヌガ、此案ノコトニ付キマシテ伺ヒマシタ所ニ依リマス、商工省ガ保險ニヤツテ居リマスト同ジャウニ、中ミヤカマシイヤウデゴザイマス、詳細ナコトハ大藏省ノ委員ガ此次ニ出マシテ御答スルヤウニ申傳ヘテ置キマス

○委員長(侯爵大久保利武君) 御差支ナイコトダケ御洩シ願ヘレバ大變仕合セデアリマス、ソレデハ如何デセウ、今日ハ是デ散會シテ、次回ハ何時ニイタシマセウカ、皆サンノ御都合ハ……

○根津嘉一郎君 會期切迫ノ際デスカラ、明日午前中ニ願ッたら如何デス

○委員長(侯爵大久保利武君) ソレデハ今日ハ是デ閉會シテ、明日ハ午前十時ニ取引所法ノ議案ヲ付議スルコトニ致シマシテ、今日ハ是デ散會致シマス

午後三時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大久保利武君

副委員長 水上長次郎君

委員

子爵八條 隆正君

子爵織田 信恒君

政府委員

司法政務次官 濱田 國松君

司法省民事局長 長島 毅君

商工參與官 牧野 良三君

男爵伊藤 文吉君

根津嘉一郎君

山崎 龜吉君

昭和四年三月十六日印刷

昭和四年三月十八日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局